

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」TEMDEC (Telemedicine Development Center of Asia)活動報告：第13巻

<https://doi.org/10.15017/4403550>

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 13, 2017-03. TENDEC Office
バージョン：
権利関係：



12. あとがき

壁

考えてみると、長年にわたる TEMDEC の活動の目的は医療の世界に横たわる壁を崩すことにあった。国の壁、距離の壁、言葉の壁、人種の壁、貧富の壁、宗教の壁、イデオロギーの壁、診療領域の壁、患者と医療者の壁、IT システムの壁などであろうか。

壁は確実に崩れる。もちろん我々の前には多くの壁がいまだに立ちはだかるが、それを打ち壊す動きも世界中で確実に増えている。最新の医療知識で一人でも多くの患者さんを救いたい医療者の強い意志や、その思いを最新の技術で支援するシステムエンジニアに支えられて日々、懸命な活動が続いている。

2016 年 7 月 1 日、バングラデシュの首都、ダッカのレストランで JICA 事業に参加していた日本人 7 名を含む 23 名がテロリズムの犠牲となった。これを機に外務省渡航情報の危険警告レベルが上がり、九州大学も渡航の自粛を通知した。テロリストが我々の思いとは逆に壁を立てたのである。結果、私は 8 月の渡航を断念せざるを得なくなった。

2017 年 1 月 25 日ドナルド・トランプ米大統領が、メキシコとの国境に「通過不可能な具体的な障壁」を建設する大統領令を、2 月 1 日には特定の 7 カ国民の米国入国を 90 日間禁止する大統領令を相次いで発出した。この時代、新しく壁をうち立てるのはテロリストだけだと思っていたのだが。。。

しかし壁は立ててもいつか崩される。患者の、患者の家族の、医療者の強い思いがそれを後押しする。ベルリンの壁を思い出そう。壁を立てた者と崩した者のいったいどちらがヒーローであるか、を。

平成 29 年 3 月

九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター 副センター長

中島直樹